

第9回 加賀温泉駅施設整備検討委員会 議事録

■会議概要

- ・ 日 時：2019年4月22日（月）13:30～
- ・ 場 所：加賀市役所別館3階 302・303会議室
- ・ 出席者：（委員）

出欠	所属・職	役職	氏名
出	金沢工業大学教授	委員長	水野 一郎
欠	金沢大学教授	副委員長	高山 純一
出	加賀市商工会議所都市政策委員長	委員	竹内 和良
出	山中温泉観光協会会長	委員	上口 昌徳
欠	山代温泉観光協会会長	委員	萬谷 正幸
出	片山津温泉観光協会会長	委員	鹿野 祐司
欠	加賀商工会議所女性会顧問	委員	丸谷 朱美
出	加賀市美術作家協会理事長 画家	委員	長谷川 清
出	古場田デザインスタジオ プロダクトデザイナー	委員	古場田 良郎
出	加賀まれびと交流協議会	委員	師池 敬子
出	かが緑化研究会会長	委員	田畑 智日
出	山代温泉旅館協同組合理事長	委員	新滝 英樹
出	加賀まれびと交流協議会副会長	委員	小中出 佳津良
出	金沢工業大学教授	アドバイザー	蜂谷 俊雄

（事務局）加賀市建設部新幹線対策室

■会議要旨

(1)加賀温泉駅舎デザインについて

- ・コインロッカーを大型も含め充実させるよう検討する。
- ・在来線についてもホームの改修や、バリアフリー対応などを要望する。
- ・夜のライトアップについても検討する。
- ・伝統工芸を駅舎内で活用するよう要望する。

(2)プロポーザルで選定された技術提案書について

- ・屋根施設も含めた駅前広場と新幹線駅舎、平和堂、美術館の一体的な景観を検討する。
- ・地下自由通路が大雨時でも通行に支障がでないよう検討する。
- ・北側駅前広場の景観についても検討する。
- ・屋根施設の両隣の堆雪スペースで繊細なイメージを崩さないよう配慮する。

(3)今後のスケジュールについて

- ・在来線駅舎イメージはまだ提示されていない。
- ・屋根施設の建設は、新幹線開業後に在来線仮駅舎を撤去してからとなるが、整備可能な部分から順次整備していく。

■会議詳細

1. 眞田部長挨拶

4月17日に鉄道運輸機構が、金沢敦賀間の新幹線駅舎デザインについてパンフレットを公開した。それぞれデザインコンセプトを形にして新聞にも公表された。似通った駅舎ではなく、地元で愛されるよう考えて苦勞したデザインになるかと思う。加賀温泉駅の場合は、デザインイメージとして、「温泉郷の風情と城下町の歴史を感じさせる駅」となっており、紅殻格子や赤瓦をポイントに用い、温泉街の情緒を醸し出そうとしている。加賀市としては、付帯意見をいくつも付けていたが、かなり配慮いただいたと感じている。

今回、昨年度に実施した加賀温泉駅都市施設建設事業設計業務プロポーザルで最優秀者として選定された、金沢計画研究所・ミナミデ建築設計事務所JVに技術提案書を説明いただき、本委員会の忌憚のない意見をいただきたい。今年度を実施設計を完成させる予定となるが、検討委員会の皆さんにも引き続きご協力をお願いしたい。

2. 水野委員長挨拶

眞田部長からあったように、パンフレットに6駅のデザインが記載されている。6駅のうち5駅はモダンなデザインだが、加賀温泉駅は伝統的なデザインとなっており、存在感は示せるのではないかと。モダンなデザインだと、地域の歴史とどう折り合いをつけるかといったことで苦勞している地域も見られる。

先日、萩から戻る際に新山口から新大阪まで新幹線を利用したが、満席で自由席では立っている人もいる程だった。GW前でもこれほどの乗客がいるのかと感じた。新大阪から金沢では、敦賀からは新幹線建設工事が進んでいることが確認できた。金沢開業は4年前で、4年後に敦賀開業となり、今はちょうど中間の時期となる。これからどんどん完成に向けて進んでいくことになると思う。

現在、金沢駅では駅西にホテルが建設予定で、それに合わせて駅西広場の改修を行い、Rintoの広場に面した部分をガラスに変更するという事で協議している。より良いものに変えていこうという意欲に溢れており、非常に嬉しく思う。加賀温泉駅に関しても時間とともにどんどん充実していくことを期待する。

本日、駅舎デザインや都市施設に関する報告を受けて、この検討委員会で皆さんと知恵を絞って良い駅、良い駅前広場にしていきたいと思う。

3. 事務局より資料説明

4. 意見交換

(1) 加賀温泉駅舎デザインについて

・水野) それでは駅舎デザイン、技術提案書、スケジュールの順番にご質問、ご意見等をお伺いしたい。まず、駅舎デザインについては、駅前広場の中心と駅舎の中心がずれているということで、格子部分を福井川に広げることで広場とバランスを取った形になるかと思う。

・古場田) 駅舎内部の待合室に加賀五彩のガラスがあるという説明があったが、加賀にはガラスの文化はないので、焼き物にできないのか。五彩と言っても地域による異なるので、九谷焼美術館などを参考にしてもらいたい。

→事務局) 材質については未確認なので、ガラスと説明したのは訂正する。

→古場田) 尾山神社のステンドグラスなどとは違うので確認をお願いします。

→事務局) ガラスだった場合に変更が可能かも含めて確認する。

- ・上口) 景観について新幹線駅舎、屋根施設と共に、平和堂や美術館も含めて一体的に考えてないと、雰囲気は上手くまとまらない。協力を要請して進めるように考えてほしい。また、観光客について、小松よりも加賀の方が多いと感じている。最近では荷物を大量に持った観光客も増えてきているので、コインロッカーや荷物預かりなどを充実させてほしい。

→事務局) 平和堂の外壁については、そろそろ改修をしたいというお話は聞こえてきている。景観審議会などの中でも、駅前の景観について新幹線の開業に合わせて、見直していく必要があるのではないかとといった意見もあり、平和堂とも今後協議していきたい。コインロッカーについては、観光案内所の所長からも大型のものを増やしてほしいといった要望があり、配慮していきたいと考えている。

→長谷川) 壁面だけでなく、中も見せてアピールすることも考えていく必要がある。コインロッカーについては、美術館に来た観光客の荷物をカウンターで預かると荷物で一杯になることもある上、そのまま遊びに行く客もいるので、十分に検討いただきたい。

→上口) 平和堂に関して言えば、飲食店など今のままではなく、若者が集まるような構想を考えないといけないと思う。

→水野) 高岡や上越でも駅前広場と周辺の地権者と意見交換をしていた。金沢も 20 年くらいかけて協定を作ってそれに従っている。加賀温泉駅も駅前広場とその周辺が一体となるような整備をする必要がある。それがエリアマネジメントとして重要となる。

- ・小中出) 在来線のホームが北側から見えると思うが、ホームの屋根などもこの機会に新幹線駅舎に合わせて改修はできないのか。今のままだとちょっとみすばらしい。

→事務局) 在来線ホームについては、現状では改修などの話はでていない。

→水野) 金沢では JR 西がホテルや駐車場などを建設して在来線のファサードが無くなった。そういったことがあれば投資する話もあるだろうが、加賀温泉駅では難しい。

→鹿野) 加賀温泉小松間など観光客が在来線を使うことはあまりないという想定か。

→水野) 本当はこの機会に在来線にも手を入れてほしかった。

→竹内) 塗装くらいはしてもらえないのか。

→事務局) 現在、動橋や大聖寺でバリアフリーになっていない部分など、色々要望もあるので市長と JR に要望していきたいと考えている。関係各位からも意見をいただきたい。

→水野) 諦めずに要望していくことが大事だ。

- ・小中出) 新幹線ホームから降りてくるところは、エスカレーターか階段どちらになるのか。金沢駅のエスカレーターが 1 人用で狭いので、幅員がどの程度なのか気になる。

→水野) 金沢駅は新幹線の計画より先に高架を作ってしまったから、利用実態とサイズが合わなくなってしまった。

→事務局) エスカレーターと階段が併設される。幅員については確認していないが、金沢と同程度になるのではないかと思う。

→新滝) 上口委員のお話で、観光客の荷物が大型化しているといったこともあるので、利用者目線では狭いと使いづらいのではないかと。今更どうにもできないかもしれないが少し気になった。

→水野) 平面図を見ると、ホームも広いので2人用のものではないかと思う。

・新滝) 夜はライトアップなどどのような景観になるのか。金沢駅の鼓門は印象的だと思う。

→水野) 駅舎自体は、夜は閉鎖してしまうと思う。鼓門も駅前広場の範囲となる。屋根施設のライトアップなどはあるのかと思う。

→事務局) 設計の中で、ライティングについても専門家の意見を基に検討したい。

・長谷川) 駅舎外壁の色について、色見本で提示してもらわないと分かりにくい。

→事務局) 建築課にある色見本では、明度や彩度まで一致するようなものが無かった。サンプルを提供できないか鉄道運輸機構に相談してみる。

(2) プロポーザルで選定された技術提案書について

・竹内) 地下自由通路だが、自転車や車いすの通行にエレベーターを利用するようになっているが、スロープで上がるようなことはできないのか。それと、現在水がついても通れるように一段高くなっている歩道があるが、ポンプを強化できないか。

→事務局) 北側が現在スロープとなっているが、バリアフリーの基準に適合しないくらいに急な傾斜なのでそのまま残すことはできない。その代わりとしてエレベーターと階段の設置となる。水がつくことについては、雨が入らないような構造とする予定なので問題が起きないように検討していく。

→水野) スロープについてはバリアフリー基準に従うと距離が長くなり過ぎてしまう。

→竹内) 駐輪場への自転車動線部分はスロープだと思うが、ここは南北に通っている水路と交差するが問題ないか。

→事務局) 水路については確認する。

→鹿野) 大雨になったとき、隣の水路が溢れたりして地下自由通路に流れ込んだりはしないのか。地元の方は在来線の北側を主に利用することになるので、南側だけでなく北側についてもしっかりと検討しないといけない。

→水野) 地下自由通路については、新幹線建設工事を契機に改修することも話したが、JRも難工事ということで良い返事がもらえなかった。技術的に対応できる部分と、計画的に対応できる部分があると思うので、煮詰めていきたい。

・師池) 景観について、北側はどうなるのか。また、駅南側の庭園部分について維持管理の予算などの問題は大丈夫なのか。水盤についても落ち葉で水が汚くなるなどの対策は考えているのか。

→事務局) 庭園の維持管理については、これから設計となるので、駅前広場の設計と合わせて協議しながら、予算や景観に関しても十分に検討しながら進めていく。北側の整備については、まだ具体的なものは決まっていない。今年度にもまず位置などが決まってきたら、地下自由通路への通路や屋根など関係する部分を市で設計するが、JRとも協議しながら進める。合わせて北側駅前広場も今年度に設計する。

→水野) 加賀市はガーデンシティ構想を含めておもてなしを掲げているので、庭園の管理はしっかりとってほしい。

→田畑) 植栽については、地下水位が高いこともあり注意していく必要がある。実施設計の際には、協力できることはしていきたい。

- ・小中出) 屋根施設について、柱が細くて繊細な印象を受けるが両隣の堆雪スペースの屋根が武骨に見える。赤瓦の屋根は俯瞰でなら見えるが、地上からだと見えにくいのではないかと。せっかくの屋根施設なので、見え方についても考慮してできる限りのことをしてほしい。

→事務局) 実施設計の段階で、なるべく要望に沿えるようにしたい。

- ・古場田) 赤瓦について、屋根施設専用のものになるのかと思うが、ちゃんと釉薬を使用した耐久性のある瓦を使用してほしい。九谷焼美術館のものが劣化して白っぽくなっているので、そうならないようお願いする。また、小松の新幹線駅で地元の工芸品や石を使ったものがパンフレットに載っているが、加賀温泉駅でも九谷焼や挽物などを、小さな部分でも良いのでしつこくならない程度に散りばめてほしい。

→事務局) JR に要望していく。

- ・水野) 屋根施設の前の水盤についてだが、これは魚や植物などがいるようなものになるのか。

→事務局) 今のところ、透明な水盤をイメージしている。

- ・水野) 屋根施設の柱の長さはどのくらいになるのか。かなり長く見えるが、一本物になるのか。

→事務局) だいたい 8m ほどとなる。今後の検討になるが、途中で接ぐことになるのではないと思う。できれば細いことにこだわったものにしたい。

- ・水野) 31p の待合室で時刻表や運行情報などどこに表示するのか。また、外に面したところで内側にある低めの屋根は、29p の平面図には載っていないがどういった意図のものか。

→事務局) 実際には、待合室のどこかにそういった情報を表示するものを設置することになると思う。内側の庇だが、スケール感を出した仕掛けができればと考えている。

→水野) JR との協議になると思うが、外に面した場所に待合室を配置する必要があるのかと思う。賑わいの創出を考えるとコンビニの方が良いかもしれない。展示ケースの配置も含めて臨機応変に対応してほしい。伝統工芸の展示については、販売もあるのか。

→事務局) 九谷焼や山中漆器の組合とはまだ具体的な協議をしていない。今後、展示や販売についても協議していく。

→水野) 賑わいの拠点となるような考えを出してほしい。

- ・小中出) 屋根施設のステージ周りだが、バックヤードのようなものは必要ないのか。

→水野) 確かに設備関係が必要になることもあるかと思うので、検討していかないといけない。

(3)今後のスケジュールについて

- ・水野) 在来線駅舎について、工事期間が 2020 年度～となっているが、イメージは出てきているのか。
 - 事務局) まだ提示されていない。設計が 2019～2020 年度となっており、工事については駅舎からホームへの地下通路を掘削しないといけないため、駅舎より先に着工する予定となっている。

- ・水野) 都市施設の建設について、2022 年度に開業となるが、仮駅舎の撤去や屋根施設の建設はその後になることを認識しておかないといけない。
 - 新滝) 仮駅舎の撤去と屋根施設の建設は 1 年程度で可能ということか。緑地整備もあると思うが。
 - 事務局) 仮駅舎のある部分だけは開業後になるが、それ以外の部分については開業までにできる範囲で整備を終わらせていきたい。

- ・水野) 実際に完成するまで色々なことが起こると思う。加賀市も担当部だけでなく全体的なエリアマネジメントを考えて、JR などとも調整していかないと統一感が無くなってしまう。
 - 事務局) 技術提案書について JR とも調整していくにあたって、アドバイザーである蜂谷先生にもお力をお借りして進めていきたい。
 - 蜂谷) 駅前広場だけでなく、駅舎や街並みの全体的なエリアマネジメントが重要となるので、コーディネートして引っ張っていきたいと考えている。関係各位とも協議しながらより良いものを目指して、粘り強く進めていきたい。

- ・水野) 今日は色々なご意見をいただいた。一步一步前進させていかないといけないので、ご協力をお願いします。これで委員会を終了する。